

じゃがいもの芽かき

作業時期：5月ごろ

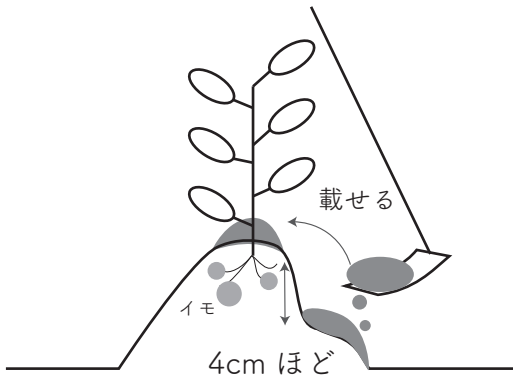


★畑の草取り

道具：鍬

①鍬で畝の脇を3~4cm程度削って、雑草を掘り返す。じゃがいもの根元の下には芋が埋まっているので、脇を掘る。余裕があれば雑草を取り除く（取り除かなくてもほとんどの雑草は枯れる）。

②畝の上に削った土を鍬で載せる。じゃがいもは上に重なるように新しい芋が出来るので、こうすることで芋が地面に出てこないようにする。



★じゃがいもの芽かき

1か所につき1,2本の芽を残して芽かきをする。

芽かきはじゃがいもの根元を持ち、横にひねるように引っ張り、根こそぎ取る。このとき、上に引っ張ると残したい株も一緒に全部抜けてしまうので注意する。

※地植えの場合、じゃがいもは草取り、芽かきをすれば育つ。肥料もいらない。水やりもほとんどしなくて大丈夫。

※葉が黄色くなったら(6月ごろ)収穫時期



プランターでの間引き



★リーフレタス：

- ①約10cm間隔になるように間引きする。
 - ②残す株も外葉をちぎって収穫する。
- ※3回程度繰り返し収穫できる

★ラディッシュ：

20-30日ほどで収穫できる。



★大根・人参：

約10cm間隔になるように間引きする。人参は葉が隣同士当たるとの間の間隔。

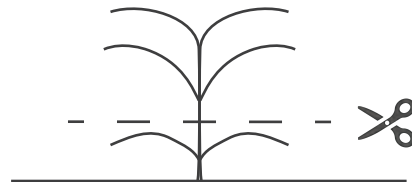
★バジル：

約10cm間隔になるように間引きする。根が残っていれば再び根付くので、空いている場所に移植しても良い。



★おかひじき：

根元を残してはさみで切って収穫する。また伸びてきて繰り返し収穫できる。



※発芽しなかったときは何がいけなかったのか考えることが大切。次に活かすことで上達できる。

※間引くときは土を落とすようにする。調理の際、土が残っていると大変。「下ごしらえは収穫から始まる」つもりで。

中耕と追肥



油粕をまいて……



バーク堆肥をまきました



奥が油粕をまいた株
手前はその上にバーク堆肥をまいた株



脇芽（これを取ります）

プランター

- ①株の間に油粕をまく
- ②土と1cm程度の深さで軽く混ぜる（中耕）
 - 土に空気が入り、雨が降ったときに染み込みやすくなる
 - 雑草もこれで取れる

※有機肥料は土の中の微生物に餌をやり、活発化した微生物の力で土の養分が増え、それが野菜に効くという仕組み

- ③バーク堆肥で下の土が隠れる程度に覆う

- 微生物がはたらきやすくなる
- 土を保湿し、固くなるのを防ぐ

※3, 4週に一度のペースで行う

菜園（トマト・唐辛子・ピーマン）

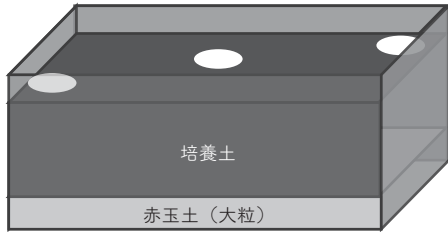
- ①鍬やスコップなどで4cm程度土を軽く掘り返す（中耕）
 - このとき雑草も掘り返す。草は取り除かなくても大丈夫
- ②株の根元の周りに、油粕を二握り程度まく
- ③上からバーク堆肥で下の土が隠れる程度に覆う
- ④このときついでに脇芽も取っておく

※3週間に一度のペースで行う

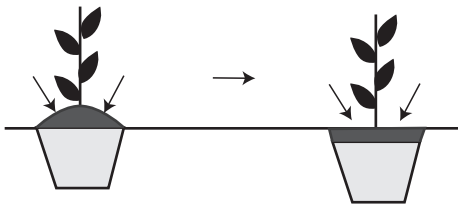
夏野菜のプランター植え付け

夏野菜の寄せ植えプランターの植え付け（トマト・バジル・マリーゴールド）

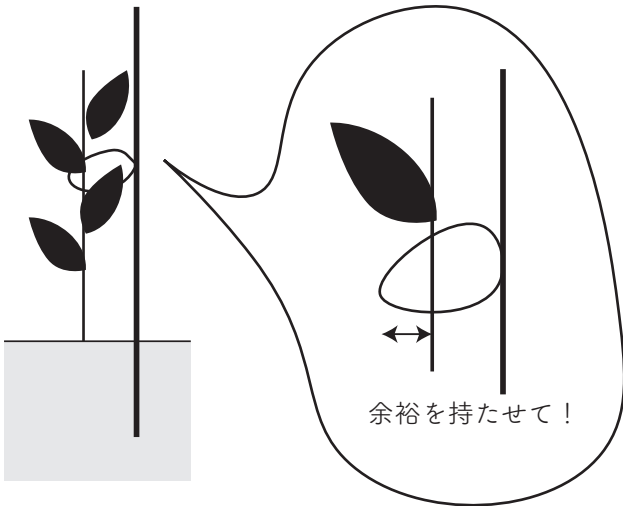
作業時期：5月ごろ



できるだけ距離を放して植える



プランターに植えられたと苗に認識させたい！



準備するもの：

プランター・鉢底ネット・大玉赤玉土・培養土・バーク堆肥・移植ごて・ゴム手袋又は軍手・苗・支柱（必要な場合）

手順とポイント

①プランターの底にネットを敷き、赤玉土（大粒）、培養土を入れる。水やりをしてかさが減るので、培養土はできるだけ多めに。

★1:プランターの底に軽石ではなく赤玉土（大玉）を使うことで、植替えの時に軽石を分類せず、混ぜ込んで土を再利用できる。鉢底に空気を取り込むために軽石や大粒土を入れる。

②プランターの真ん中・両端の3か所に穴をあける。

★2:プランターの中でそれぞれの苗ができるだけ大きなスペースがとれるよう、真ん中と両端に植えます。

★3:今回の組み合わせではトマト（支柱あり）を真ん中、バジル・マリーゴールドを両端に植える

③苗を手に取り優しく植え、土を富士山型にかぶせて土の中に押し込む。

★3:プランターに植え替えられた！と認識できるように、最後にぎゅっと押し入れて、ポットの中とは違って大きく育てるよ！と苗に教えてあげるのが植え付けのポイント！

④トマトに支柱を立てる。

★4:麻ひもを支柱に結び、茎の周りに緩く輪を作って支えるのがポイント！苗が動く余裕をつくることでしっかりと根付く

⑤バーク堆肥を使いマルチングする。暑さ3cmくらいが目安。保湿効果がある（農家さんが藁でやるのと同じ）

★なぜこの組み合わせ？

バジルはトマトと相性が良く、マリーゴールドは根を守ってくれる

★バジルは根元を残して収穫すると、繰り返し収穫できる

★マリーゴールドも大きくなりすぎないように適宜切り戻す